



平成 28 年 2 月 12 日

各位

上場会社名 DIC株式会社
 代表者 代表取締役社長執行役員 中西義之
 (コード番号 4631)
 問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 江頭 淳
 (TEL 03-6733-3033)

新中期経営計画「DIC108」の策定について

DIC 株式会社は、経営理念、経営ビジョン及びコーポレートバリューを踏まえ、持続的な成長を実現するための「成長シナリオ」を描き、2018 年までになすべきことを中期経営計画「DIC108」として以下の通り策定しました。

1. 目指す企業像

■ 経営理念 - Mission -

「絶えざるイノベーションにより豊かな価値を創造し、顧客と社会の持続可能な発展に貢献する」

■ 経営ビジョン - Vision -

「化学で彩りと快適を提案する - Color & Comfort by Chemistry -」

■ 経営ビジョンを実現するための3つのコーポレートバリュー

➢ Making it Colorful

- DIC は彩りある生活をつくります -

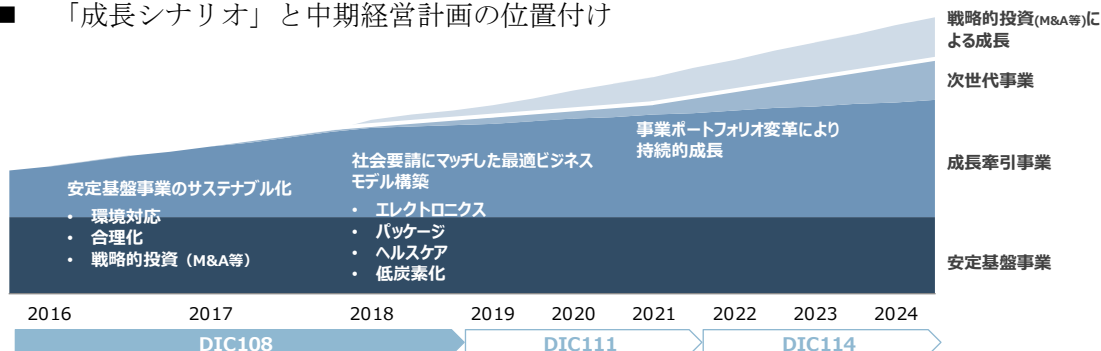
➢ Innovation through Compounding

- DIC は Compounding という中核技術で社会に革新をもたらします -

➢ Specialty Solutions

- DIC は専門力と総合力で課題を解決していきます -

■ 「成長シナリオ」と中期経営計画の位置付け



2. 基本戦略

【事業】 4つの事業施策で 「成長シナリオ」を実現	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業施策①：成長牽引事業の拡大 ➤ 事業施策②：戦略的投資（M&A等）機会の追求 ➤ 事業施策③：成熟地域での更なる合理化 ➤ 事業施策④：次世代事業の創出
【財務】 キャッシュフローマネジメントで最適バランスを追求	成長投資、財務体質、株主還元のバランスを追求 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 成長投資：戦略的投資枠 1,500 億円の設定 ➤ 財務体質：D/C レシオを 50%程度にコントロール ➤ 株主還元：配当性向を 30%程度まで引き上げ
【経営インフラ】 経営インフラの整備でグローバル化・高度化を 下支え	<ul style="list-style-type: none"> ➤ オペレーション： 技術、R&D、購買、SSC*、IT をグローバルに強化 ➤ コーポレートガバナンス： コーポレートガバナンスコードを踏まえた課題対応

* SSC: シェアドサービスセンター

3. 数値計画（単位：億円）

	2015 実績	2016 計画	2017 計画	2018 計画
売上高	8,200	8,700	9,200	9,600
営業利益	511	540	580	650
当期純利益	374	250	300	400
ROE	15%	9%	10%	12%
通常投資	340	1,200		
戦略的投資枠（M&A等）	—	1,500		
D/C レシオ*	47%	50%程度		
配当性向	21%	30%程度		

* D/C レシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

前提為替レート： 120 円/US\$、1.10US\$/EUR

4. 基本戦略：[事業] ～4つの事業施策で「成長シナリオ」を実現～

■ 事業施策①：成長牽引事業の拡大（営業利益貢献 150 億円）

- ▶ 高機能材料（TFT 液晶材料、機能性顔料、PPS コンパウンド、ジェットインキ）
中期的に急速な市場成長を期待できる製品群を「高機能材料」と定義し、リソースを集中することで、3年間で1.7倍に事業規模を拡大します。
- ▶ パッケージ（グラビアインキ、フレキソインキ、ラミネート接着剤、フィルム）
多彩なパッケージ関連材料・技術のラインアップを活かしたワンストップサービスで、消費者・ブランドオーナーに DIC ならではの革新的ソリューションを提供し、3年間で売上高を 500 億円増加させます。

■ 事業施策②：戦略的投資（M&A 等）機会の追求

- ▶ DIC105 での財務体質の劇的な改善を受け、3年間で 1,500 億円の戦略的投資枠（M&A 等）を数値計画に織り込みました。将来の事業ポートフォリオ変革への布石となる打ち手を講じ、成長シナリオを実現します。

■ 事業施策③：成熟地域での更なる合理化（営業利益貢献 110 億円）

- ▶ 欧米出版インキ事業
DIC105 でグローバルに統廃合した生産能力に合わせて、地域毎に供給体制を最適化します。これによりコスト競争力を更に高め、需要減少下でもサステナブルな事業構造に転換します。DIC108 では欧米印刷インキ事業営業利益率 5% を必達します。
- ▶ 国内成熟事業（出版インキ、ポリマ、間接部門）
需要減少を先取りした抜本的な再構築に踏み込み、経営リソースを成長事業、成長地域へと大胆に振り向けます。

■ 事業施策④：次世代事業の創出

- ▶ 自前主義から脱却し果敢にオープンイノベーションに取り組むとともに、技術領域を拡張し、プリンテッドエレクトロニクス材料、バリア材料、ヘルスケア食品、藻類由来油脂等、社会要請にマッチした新たな価値を創出します。

5. セグメント別計画概要 () は 2018 年度計画売上高の 2015 年度実績対比成長率

■ プリンティングインキ

グループ最大の基幹事業として、成熟地域での更なる合理化と並行し、成長地域のアジア（34%）及び成長分野のパッケージ用インキ・接着剤（19%）において事業拡大を加速します。

■ ファインケミカル

高付加価値追求による成長牽引役として、切れ目のない製品開発と盤石な供給体制を武器に、戦略製品である機能性顔料と TFT 液晶の市場シェアを拡大します（戦略製品：86%）。

■ ポリマ

第2の基幹事業として、戦略製品群（飽和ポリエステル、ウレタン、アクリル及び UV）に経営資源を集中投入し、成長用途（アジアの塗料・粘接着）を中心にグローバル化を加速します（海外事業：24%）。

■ コンパウンド

基盤技術の複合による成長牽引役として、戦略製品であるジェットインキと PPS コンパウンドで、ユーザーニーズに適合した新たな製品を継続的に投入し、市場を上回る成長を実現します（戦略製品：46%）。

■ アプリケーションマテリアルズ

新たな成長モデルとして電子・ライフサイエンス分野（18%）において事業拡大を加速する一方、住設分野の徹底した合理化を実行します。

以上

（ご参考）

「DIC108」の説明資料は、当社ホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。

<http://www.dic-global.com/ja/ir/>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる意味における勧誘行為を意図したものではありません。将来の計画値は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものです。実際の売上高および利益は、記載している計画値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、将来計画の正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にて行いますようお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じうるいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。